

PEMBROKE
PLAYERS
JAPAN TOUR

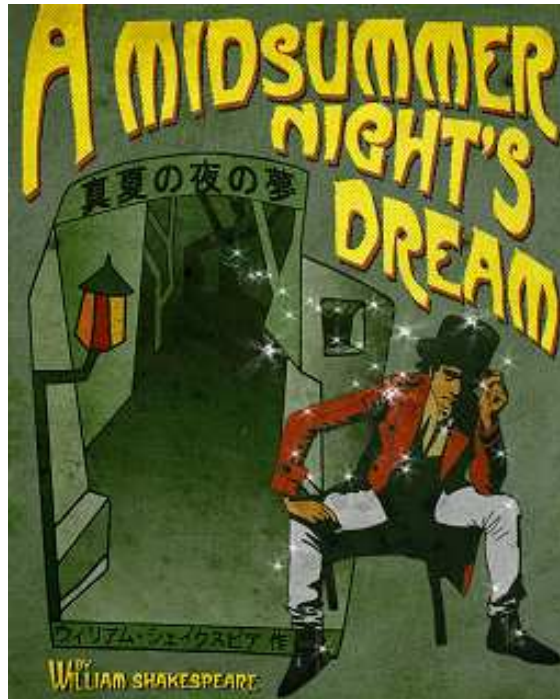
ケンブリッジ大学ペンブルック劇団

ハリウッド・スターも生み出した名門劇団が再来日！

『真夏の夜の夢』

成蹊公演

主催：成蹊学園国際教育センター



劇団ウェブサイト(英語)

[http://www.srcf.ucam.org/](http://www.srcf.ucam.org/pemplayers/japantour/)

[pemplayers/japantour/](http://www.srcf.ucam.org/pemplayers/japantour/)

9月20日(土) 13:00 開場
13:30 開演
成蹊大学4号館ホール (15:30 終演)

どなたでもご参加いただけます。(申込不要)

立ち見になる場合もございます。車での来校はお控えください。

◆ ペンブルック・プレイヤーズ(Pembroke Players)◆

ペンブルック・プレイヤーズは、1955年に創設され、モンティ・パイソンのエリック・アイドル (Eric Idle) やピーター・クック (Peter Cook)、クライヴ・ジェームズ (Clive James)、ザ・グーディーズのティム・ブルック＝テイラー (Tim Brooke-Taylor) といった数々の有名な作家、俳優、コメディアンを輩出してきました。プレイヤーズは学生の運営する企画団体として年間約15の作品・コメディアンショーを上演しており、それぞれの企画にはペンブルックカレッジからのみならず、ケンブリッジ大学の他のカレッジからも多数の学生が参加しています。ケンブリッジにある学生劇団の中でも、最も活発で人気のある劇団です。1955年から1970年まで、プレイヤーズは毎年シェークスピア作品の西ドイツ公演を敢行していた歴史もあります。2005年にはドイツ公演を再開し、大成功を収めました。日本ツアーは昨年からは始まり、今年が二回目になります。(詳細情報は、<http://www.pembrokeplayers.org/>をご覧ください)

◆ シェークスピア劇『真夏の夜の夢』◆

アテネの町から少し離れた所にある、妖精の住む森に、二組の若い男女がやってくる。互いに愛し合いながらも結婚を許されないライサンダーとハーミア。ハーミアを愛する青年ディミートリアス。その彼に片思いをするヘレナ。若い四人が追いつ追われつ夜の森の中をさまよひ、やがて疲れて眠ってしまった時、いたずら者の妖精パックが登場。「ほれ薬」を男の目に注ぐのだが、相手をまちがえて、とんだ騒ぎがもちあがる。愛と幻想にみちたロマンティック・コメディ。

(<http://www.gutenberg21.co.jp/summer.htm>より)

問い合わせ先：成蹊学園国際教育センター国際課 (Tel 0422-37-3536)